

夢へ新しい環境飛び込んで

新電力会社「石川電力」(金沢市)の小田柿陽介会長(右)が十九日、同市堀川新町の第一学院高校金沢キャンパスで講演し、二年生三十二人が聞き入った。

滋賀県出身の小田柿さんは金沢工業大(野々市市)に進学。在学中に通信業の会社を起業し、中退した。現在は売電を主事業とする石川電力のほか、



講演する小田柿陽介さん(金沢市堀川新町の第一学院高校金沢キャンパスで)

第一学院高「起業して中退」石川電力会長 講演

イベント企画やIT関連などの会社の経営に携わる。

講演で小田柿さんは、学生時代に若手経営者と出会って商売に興味を持ったことや、世の中に影響を与えられる人間になろうと思ったことなど、起業に至るまでの経緯を振り返った。自身も高校生の頃には目標がなかったことを明かし、「何になりたいかではなく、どうなりたいか考えることが大事」と強調。「夢や希望を見つけるために、新しい環境に飛び込んで」と呼び掛けた。

聴講した坂本琳華さん(右)は「かつては普通の大学生だったことに共感を持てた。経営者の話を直接聞ける機会は少ないので、勉強になった」と話した。

講演は第一学院高のキャリア教育の一環。月に一回ほど、外部講師に講演を依頼している。(西浦梓司)